

## 令和7年度 第2回八幡地域協議会

日時：令和8年3月19日（木）午後7時～

会場：郡上市役所本庁舎 4階 大会議室

### 開 会

#### 1. あいさつ

#### 2. 協議事項

(1) 課題検討部会アンケート結果の周知について … 資料1

(2) 八幡地域協議会の体制の見直しについて … 資料2

(3) 令和8年度 事業計画・予算（案）について … 資料3

#### 3. その他

### 閉 会



## 八幡地域協議会で実施したアンケート調査結果の概要をお知らせします

## ～「日常の買い物や移動手段に関する市民アンケート」～

八幡地域協議会では、住民が主体的に連携・協力し、地域の様々な課題の解決や地域の特色をいかした地域づくりを進めるための活動を行っています。

八幡地域協議会では、地域で暮らし続けるために欠かせない課題として“買い物支援（買い物弱者の支援）”を重点として捉え、その課題解決に向け、地域内の現状を把握するため、アンケート調査を実施しました。今回はその結果の概要をお知らせします。



アンケートの詳細は、右記の八幡地域協議会ホームページからもご覧いただけます



調査名	日常の買い物や移動手段に関する市民アンケート
対象	八幡町内在住の65歳以上89歳以下の年齢別人口からの無作為抽出
実施方法/時期	配布・回答方法：郵送 / 令和7年1月27日～2月28日
配布/回答数	配布数513票 / 回答数390票（回答率76.0%）

## 1. アンケート調査結果(概要)



## ① 年齢や世帯構成について

・今回の調査対象は65歳以上の人ですが、世帯構成は「一人暮らし世帯」が14.9%、「夫婦のみの世帯」が40.0%で、全体の54.9%を占めています。  
・また、「2世代以上で同居」の割合は、全体の41.0%ですが、うち80歳以上の割合が13.2%となり、2世代以上が同居する家族構成の場合でも、高齢者のみ世帯は相当数あると考えられます。

## ② 買い物に行く手段と車の運転について

・ほとんどの人が買い物に「自家用車」を利用しており、全体の87.5%を占めます。うち「自分で運転」が67.2%、「家族・知人等が運転」が20.3%となります。  
・自分で車を運転する人は79.2%、同居する人に運転する人がいると答えた人は77.4%です。  
・自動車以外で、公共交通の利用状況は極めて低い状況です。また、徒歩、自転車等の利用は、お店に近い市街地や周辺地区に限られるため割合は低い状況です。  
・普段の買物に不便を感じていますかという質問では、「不便・不安を感じていない」が全体で62.3%となりますが、車を運転する人では、不便・不安を感じていない人の割合が高くなる傾向があります。

## ③ 買い物をする場所・頻度について

・実店舗での購入がほとんどで、大型店舗を利用する割合が高くなっています。（スーパー、ショッピングセンター（36.5%）、ドラッグストア・薬局（29.6%）、ホームセンター（16.9%）、3つ合計で全体の83.0%を占めます）  
・買い物の頻度は、96.1%の人が週1回以上買い物をすると回答しています。また、普段買い物するお店が近い地区ほど買い物の頻度が高い傾向があります。

## ④ 買い物しやすい環境のために必要なサービス等について

・買い物しやすい環境のために必要だと思うサービスは、高い順に移動販売（14.3%）、お店を誘致（13.1%）、宅配・配達サービス（12.9%）、店への送迎サービス（12.0%）で、「特になし」は14.6%でした。  
・すでに利用している割合が高いサービスは「商品の宅配・配達サービス」、すでに利用している人やあれば利用したい割合が高いものは「移動販売・移動スーパー」でした。  
・利用したい人と利用している人に差があるのは、サービスを知らないことや提供できるエリアが限定されることが要因の一つと考えられますが、今後も地域にとって重要な買い物支援サービスとなっています。また、生協、ネットスーパー等の宅配サービスやネットショッピングを普段の買い物と組み合わせることで、より便利に活用することもできます。

## 2. 回答者いただいた方の属性について

### ①年齢

		構成比
(1)	65～69歳	25.6%
(2)	70～74歳	23.8%
(3)	75～79歳	19.7%
(4)	80～84歳	16.2%
(5)	85歳以上	12.3%
	無回答	2.3%



### ④お住まいの地区

		構成比
(1)	市街地	26.2%
(2)	市街地以外	70.7%
	無回答	3.1%

このアンケートでは、地域協議会の区域で分けていますので、居住地別の回答者の割合は下記のような構成となります。

### ②性別

		構成比
(1)	男	42.6%
(2)	女	55.9%
	無回答	1.5%

「2世代以上で同居」が最も割合が高く4割程度となりますが、「一人暮らし」と「夫婦のみ」の世帯が半数以上となっています。

### ④お住まいの地区(地域協議会単位)

		構成比
(1)	郡上八幡まちづくり会議(市街地)	26.2%
(2)	川合西部	4.4%
(3)	川合東部	6.7%
(4)	相生	15.4%
(5)	那比	4.9%
(6)	小野	16.7%
(7)	口明方	13.3%
(8)	西和良	5.1%
(9)	小那比	4.4%
(10)	無回答	3.1%



### ③世帯の構成

		構成比
(1)	一人暮らし	14.9%
(2)	夫婦のみ	40.0%
(3)	2世代以上で同居	41.0%
(4)	その他	2.6%
	無回答	1.5%

### ⑤車の運転

		構成比
(1)	運転する	79.2%
(2)	運転しない	19.7%
	無回答	1.0%

およそ8割が自分で運転をすると回答しています。また、「同居人に運転する人はいますか」という質問でも、8割程度が運転する人がいると回答しています。

## 3. 普段の買物について

### ①買い物の頻度

		構成比
(1)	ほぼ毎日	11.5%
(2)	週4～5日	13.6%
(3)	週2～3日	45.4%
(4)	週1回程度	25.6%
(5)	2週間に1回程度	3.1%
(6)	ほとんど行かない	0.0%
(7)	その他	0.3%
	無回答	0.5%

### ②-1よく利用するお店はどこにありますか

		構成比
(1)	同じ地区内	10.5%
(2)	八幡町内	69.0%
(3)	郡上市内	14.6%
(4)	市外	4.6%
	無回答	1.3%

ほとんどの人が週に1回以上買い物に出かけます。

### ②-3よく利用するお店までの距離は

		構成比
(1)	250m以内	3.1%
(2)	250m～500m	7.7%
(3)	500m～1km	17.2%
(4)	1km～5km	33.8%
(5)	5km～10km	15.1%
(6)	10km～20km	14.9%
(7)	20km以上	6.4%
	無回答	1.8%

### ②食料品や日用品等の買物によく利用するお店

		構成比
(1)	個人商店	1.9%
(2)	スーパー・ショッピングセンター	36.5%
(3)	コンビニ	5.9%
(4)	ドラッグストア・薬局	29.6%
(5)	ホームセンター	16.9%
(6)	生協などの共同購入	4.7%
(7)	宅配サービス	0.7%
(8)	移動販売	1.2%
(9)	通信販売・ネット購入	2.0%
(10)	その他	0.1%
	無回答	0.3%
	計	100.0%

### ②-2お店までの移動方法

		構成比
(1)	徒歩	4.4%
(2)	自転車・バイク	4.4%
(3)	自動車(自分で運転)	67.2%
(4)	自動車(家族・知人等が運転)	20.3%
(5)	タクシー	0.0%
(6)	バス	1.5%
(7)	鉄道	0.0%
(8)	店の送迎車	0.0%
(9)	その他	0.5%
	無回答	1.8%

移動手段では9割近くが自動車を利用しています。

5km圏内によく行くお店がある人が6割以上ですが、10km以上の人も2割以上。買い物によく利用するお店はスーパーやドラッグストアなどの大型店舗の割合が多くなっています。



③買い物支援サービスを利用していますか

	構成比
(1) 利用している	4.4%
(2) 利用していない	91.0%
無回答	4.6%

④普段の買物に不便を感じていますか

	構成比
(1) 不便・不安を感じている	31.8%
(2) 不便・不安を感じていない	62.3%
無回答	5.9%

④-1不便を感じていると答えた人の理由

	構成比
(1) 近くにお店が無い	17.3%
(2) 歩いて買物に行くのが大変	5.8%
(3) 重いものが持てない	5.2%
(4) 一度に少量しか買物ができない	1.0%
(5) 買物を手伝ってくれる人がいない	1.6%
(6) 車や自転車の運転が不安	4.4%
(7) バス・鉄道が不便	3.2%
(8) バス・鉄道・タクシーの運賃が高い	1.0%
(9) 家族の協力が無いと行きたい時に買物に行けない	5.8%
(10) その他	2.4%
無回答	52.5%

⑤買い物しやすい環境のために必要だと思うこと

	構成比
(1) 特になし	14.6%
(2) 宅配・配達サービス	12.9%
(3) 店への送迎サービス	12.0%
(4) 近くにお店を誘致	13.1%
(5) 移動販売・移動スーパー	14.3%
(6) 家族の協力	11.7%
(7) 近隣住民との助け合い	3.0%
(8) 介護ヘルパーなどの支援	1.5%
(9) バス・タクシー等の充実	8.6%
(10) インターネットやネット通販の使い方の支援	3.2%
(11) その他	1.4%
無回答	3.8%

普段の買物に不便を感じている人は、約3割で、6割以上の人が、今は不便を感じていないと回答しています。

不便を感じている理由としては、「近くにお店が無い」、「歩いて行けない」、「重いものが持てない」の割合が高くなっており、車の運転ができる人、できない人によっても違いが出ています。



⑥もし次のようなサービスがあれば利用しますか

(1) 移動販売車・移動スーパー

	構成比
(1) すでに利用している	9.5%
(2) あれば利用する	34.1%
(3) すでにあるが利用していない	14.6%
(4) あっても利用しない	12.8%
(5) わからない	24.6%
無回答	4.4%

(4) 地域住民やNPOなどが共同で運営する日用品などの販売店

	構成比
(1) すでに利用している	1.0%
(2) あれば利用する	21.5%
(3) すでにあるが利用していない	3.1%
(4) あっても利用しない	9.7%
(5) わからない	50.8%
無回答	13.8%

最近はネットショッピングを利用する人の割合も高くなってきています。

(2) 買い物の際の送迎サービス

	構成比
(1) すでに利用している	0.8%
(2) あれば利用する	21.5%
(3) すでにあるが利用していない	3.6%
(4) あっても利用しない	19.7%
(5) わからない	38.5%
無回答	15.9%

(5) インターネットショッピング(ネット通販)

	構成比
(1) すでに利用している	42.8%
(2) 利用していない	38.5%
(3) わからない	9.5%
無回答	9.2%



(3) 商品の宅配・配達サービス

	構成比
(1) すでに利用している	18.7%
(2) あれば利用する	19.0%
(3) すでにあるが利用していない	4.6%
(4) あっても利用しない	14.4%
(5) わからない	30.3%
無回答	13.1%

すでに利用している割合が高いのが「商品の宅配・配達サービス」で、すでに利用している人やあれば利用したいという割合が高いのが「移動販売・移動スーパー」という回答となっています。利用したい人と利用している人に差があるのは、地域によってサービスが提供できるエリアが限定されることが要因の一つと考えられますが、地域にとって重要な買い物支援サービスとなっています。

## 《参考》

「一人暮らし」と回答した人で「自分で運転する人、しない人別」の回答結果(抜粋)

### ②食料品や日用品等の買物によく利用するお店

	運転する	運転しない
個人商店	2.9%	8.1%
スーパー・ショッピングセンター	34.3%	40.5%
コンビニ	9.8%	0.0%
ドラッグストア・薬局	28.4%	32.4%
ホームセンター	12.7%	5.4%
生協などの共同購入	3.9%	10.8%
宅配サービス	2.9%	0.0%
移動販売	1.0%	0.0%
通信販売・ネット購入	3.9%	0.0%
その他	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	2.7%

### ④普段の買物に不便を感じていますか

	運転する	運転しない
不便・不安を感じている	23.1%	57.9%
不便・不安を感じていない	71.8%	26.3%
無回答	5.1%	15.8%

### ④-1不便を感じていると答えた人の理由

	運転する	運転しない
近くにお店が無い	14.0%	13.3%
歩いて買物に行くのが大変	2.3%	10.0%
重いものが持てない	2.3%	13.3%
一度に少量しか買物ができない	0.0%	6.7%
買物を手伝ってくれる人がいない	2.3%	3.3%
車や自転車の運転が不安	2.3%	6.7%
バス・鉄道が不便	4.7%	3.3%
バス・鉄道・タクシーの運賃が高い	0.0%	6.7%
家族の協力が無いと行きたい時に買物に行けない	0.0%	6.7%
その他	2.3%	3.3%
無回答	69.8%	26.7%

例として、一人暮らし世帯で、運転する人、しない人別にアンケート結果をクロス集計した回答の一部を掲載しました。



運転しない人では、「不便・不安を感じる」人の割合が、6割弱と非常に高くなったり、買い物方法も生協などでの共同購入の割合が1割と大きな差が出ていたり、不便を感じる理由も多岐に渡ります。

## 4. 八幡町内で実施されている買い物等を支援するサービスの一例を紹介します！

①移動販売 あらかじめ巡回するコースと時間を設定し、日常生活に必要な生鮮食料品、日用雑貨品等を自動車により販売する形態をいいます。へき地の高齢者の生活を支える大きな資源となっています。

名称	巡回地区
移動スーパー 福和来	八幡・大和・明宝
土里夢	八幡・美並
西和良ジビエ工房	八幡(西和良)・和良
移動スーパー はじ丸	美並・八幡(小那比)
マツオカ	八幡(小那比)



②配食サービス 在宅の高齢者が栄養バランスのとれた食事の提供を受けられ、訪問時に安否確認をしてもらえます。

名称	住所
八幡福祉事業協同組合	八幡町那比
NPO法人 りあらいず和	八幡町市島
西和良まちづくり協議会	八幡町美山

○利用できる人…概ね65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯等で、身体機能の低下等が理由で調理が困難であり、買い物に行けず食材の確保が困難で、家族の支援が受けられない人。要支援・要介護認定を受けている人、またはサービス事業対象者(25項目の質問項目に基づき、生活機能の低下が認められた場合)の人  
○助成額…1食あたり270円を助成します。ただし、1日につき1食までが対象となります。

③福祉有償運送 障がい者や要介護者等を対象に、NPO等の非営利法人や市町村が乗車定員11人未満の自家用自動車(白ナンバー)で行う、ドア・ツー・ドアの個別輸送サービスです。

名称	住所
あいおい介護タクシー	八幡町相生
さくら福祉サービス	八幡町美山

○対象者…身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者、要介護認定者、要支援認定者、基本チェックリスト該当者、その他の障がいを有する人(障害者手帳を持っていない人)

## 八幡地域協議会の体制の見直しについて

## 1. 地域協議会全体（委員定数等）について

- ・庁内の各種審議会等の委員定数について、全体的な定数の見直しを実施。「郡上市地域協議会設置規則」は改正を行い、R8.4より全地域において定数10名程度となる。
- ・地域協議会においては、現要綱で定める「15名程度」のところ、各地域協議会では15～19名で運営されており、八幡地域協議会の現委員数は19名となる。
- ・また、委員の選出は1～6号に分類し選出しているが、現行要綱においても1～6号全ての分野から委員の選出を行う必要はないが、ほぼ全ての地域協議会において、1号「自治会支部長」と第2号「地域公民館長」を選出しており、より柔軟な組織運営体制とできるよう1～2号委員の「長」は削除し、「から選出されたもの」へと要綱を改正する。
- ・また、改正に伴い地域協議会において必要に応じて市内団体等から協議会へ出席をいただいた場合、委員報酬と同程度の謝金を活動交付金から支払うことができるよう改正も行う。

## 2. 八幡地域協議会の運営体制について

【R6～7年度】19名

	団体・役職名
1号委員	自治会連合会八幡支部長
2号委員	八幡地域公民館長
3号委員	郡上市商工会八幡支部
	郡上八幡観光協会
	八幡連合女性の会
	郡上地区青年農業士連絡協議会
	郡上市シニアクラブ連合会八幡支部
	(一社)郡上八幡まちづくり会議
	川合西部地域協議会
	川合東部地域づくり協議会
	小野まちづくり協議会
	相生地域づくり協議会
	那比地域づくり協議会
	口明方地域づくり協議会
	(一社)西和良まちづくり協議会
	小那比夢ビジョン実行委員会
4号委員	学識経験者（元八幡地域公民館長）
5号委員	公募委員2名

【R8～9年度（案）】10名予定

	団体名
3号委員	(一社)郡上八幡まちづくり会議
	川合西部地域協議会
	川合東部地域づくり協議会
	小野まちづくり協議会
	相生地域づくり協議会
	那比地域づくり協議会
	口明方地域づくり協議会
	(一社)西和良まちづくり協議会
	小那比夢ビジョン実行委員会
5号委員	公募委員1名

### 3. 地域協議会（市域）として目指す方向性について

#### ▶地域協議会から地域運営組織への移行を加速化させる。

「集落支援員」を地域協議会事務局として配置し、地域課題解決・組織運営のサポートを行う。

※特別交付税対象（R8 実施予定：明宝、和良）

## 集落支援員事業について

### 【 集落支援員とは 】

集落の維持・活性化のため、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウを有する人材（集落支援員）が、集落の巡回・状況把握、住民同士の話し合いの促進、これらを通じ必要とされた具体的な取組みやその取組主体となる地域運営組織などのサポートを行う仕組み。市からの委嘱を受け、市職員と連携して活動する。国からの財政的な支援は、集落支援員を設置した地方自治体に対して1人当たり500万円（専任の場合）を上限に特別交付税措置が講じられる。

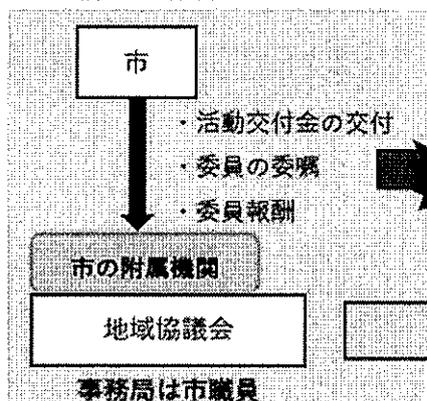
### 【 郡上市での活用方法 】

#### ○地域協議会

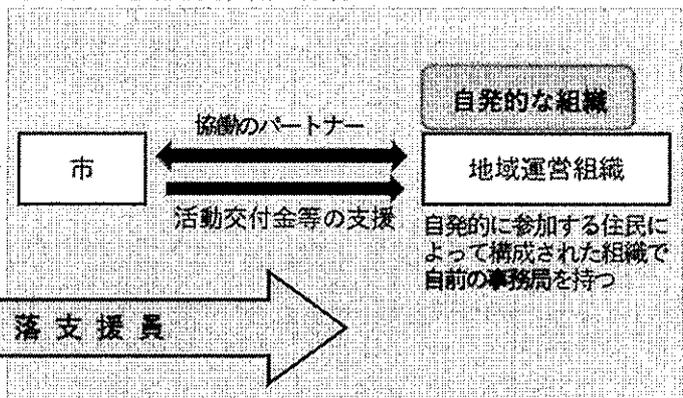
各地域で地域づくり活動を展開している地域協議会は、振興事務所が事務局となって運営しているが、将来的に地域運営を担う組織として自立して活動していくためには、継続して事務局を担える人材が必要である。このため、協議会事務局に集落支援員を配置し、集落点検による課題の把握、課題解決に向けた取組みの企画・協議、組織運営のサポートを行う。

令和8年度においては、まずは明宝及び和良の2地域で実施することとし、順次、他地域へ展開していきたい。

#### 地域協議会の体制



#### 想定する地域運営組織の体制



## 令和8年度 事業計画書(案)

(単位:円)

番号	事業名	実施期間	行動内容	事業費
1	【八幡全体】 ①事務経費 20,000	①4~3月	①消耗品費、振込手数料等	20,000 (20,000)
2	【(一社)郡上八幡まちづくり会議】 ①周縁部活用見える化事業(わくわくこみち) 234,000 ②郡上八幡「智」の情報共有事業(報告会) 133,000 ③暮らしの拠点活用事業(村田邸子供営業日・高校生営業日) 174,000	①4~3月 ②4~3月 ③4~3月	①周縁部活用見える化事業 (1)「みんなのわくわくこみち」開催 ・周縁部における再生方策可視化に向けたイベントの開催 (2)暮らしの拠点施設活用事業 ・「子供店長営業日」、「郡高生店長営業日」開催 ②郡上八幡「智」の報告会開催 ・郡上八幡での大学生調査研究報告会・まちづくり報告会の開催 ③暮らしの拠点施設活用として子供だけの・高校生だけの店舗営業を実施	541,000   (490,000)
3	【川合東部地域づくり協議会】 ①公民館夏祭り出店 4,000 ②映画上映会 193,000 ③師走市の開催 53,000	①8月 ②11月 ③12月	①公民館夏祭りフリーマーケットへの出店 ②屋外映画上映会の開催する ③地産地消を促すため、地元農産物の販売、餅つき、餅花体験等の実施	250,000  (250,000)
4	【相生地域づくり協議会】 ①あいおい楽市楽座 210,000 ②アィオィパーティー 100,000 ③道の駅構想 50,000 ④駅前踊り ⑤相生祭 ⑥相生振興大会	①5~9月 ②11月 ③4月~3月 ④8月 ⑤10月 ⑥2月	①マルシェ、音楽ライブ、五平餅販売等 ②マルシェ、芋煮会、五平餅販売、野外音楽、子供広場等 ③実行委員会、広報チラシ印刷等 ④⑤イベント協力、五平餅販売等 ⑥活動発表、意見収集	360,000   (360,000)
5	【口明方地域づくり協議会】 ①高雄山登山道・展望台整備事業(第7期) 256,000	①5~9月 ②9月 ③12月	①登山道整備(階段設置、落葉除去、ロープ張替え)、展望台整備(京塚山頂上、第2展望台)、立木伐採、ベンチ設置 ②立木伐採処理方法実技講習会 ③大径木伐採	256,200  (256,000)
6	【西和良まちづくり協議会】 ①西和良ふるさと祭り 60,000 ②西和良農泊研修会 40,000 ③協議会PRパンフレット、チラシ作成 60,000	①10月 ②10月 ③4~11月	①音楽ライブ、マルシェの開催、広報用チラシ印刷・配布 ②農泊体験の発表、農泊実践者の募集、広報用チラシ印刷・配布 ③西和良まちづくり協議会の活動内容のパンフレット作成、配布	160,000  (160,000)
7	【小那比夢ビジョン実行委員会】 ①小那比地域振興・交流促進事業(納涼大会、文化祭)	①8月、11月	①地域の魅力再発見と地域内外の交流、つながりを深めるため、地域活性化及び交流促進を目的としたイベントの開催	59,000  (59,000)
合計				1,646,200 (1,595,000)

※括弧書きは単会への交付金

